



関西エアポート、「ACI アジア太平洋地域総会」のホスト空港に決定！ 関西初、2020年春に奈良県で開催

関西エアポート株式会社が、2020年に開催される「第15回 ACI アジア太平洋地域総会、会議及び展示会（以下、ACI アジア太平洋地域総会）」のホスト空港となることが、現在香港で開催中の第14回総会にて正式に決定致しました。



▲アジア太平洋地域総会 引き継ぎ式の様子

ACI (Airports Council International : 国際空港評議会) は、世界の空港や空港ビルの管理者・所有者を会員とする国際機関です。ACI 全体のほかに、アジア太平洋、北米、欧州、中南米、アフリカの5つの地域別でも活動しており、日本が属するアジア太平洋地域は現在49の国と地域、589の空港によって構成されています。ACI アジア太平洋地域総会は、アジア太平洋地域をはじめとする空港・航空関係者が一堂に会し、業界が抱える様々な課題や、最新の動向ならびに将来の展望等について議論を行う国際会議です。2020年は奈良県での開催を予定しており、当総会が関西地域で実施されることは初めてです。

現在、日本ではインバウンド需要が継続的に増加しており、関西国際空港を利用する外国人旅客数も7年連続で過去最高を記録しています。関西では2021年にワールド・マスターズ・ゲームズ、2025年に大阪万博と大型国際イベントも次々に開催され、今後も多くの観光客が訪れることが予想されます。そのため、当総会の開催は、インバウンドに大きなポテンシャルを持つ関西の魅力を海外に発信する、絶好の機会だと考えています。ホスト空港として、空港・航空業界の益々の発展をめざした有意義な議論を推進し、また、日本古来の歴史や文化を体感できる奈良県で、関西地域を最大限アピールできるよう努めてまいります。

■ 「第15回 ACI アジア太平洋地域総会」開催概要

開催日程：2020年4月21日(火)～4月23日(木)

開催地：奈良県

参加者：ACI アジア太平洋地域の空港・航空関係者を中心に約500名

内容：基調講演、パネルディスカッション、空港・航空・観光関連事業者による展示会等

主催：ACI アジア太平洋地域事務局



「第15回ACIアジア太平洋地域総会」ロゴマーク

関西 (KANSAI) の頭文字「K」をモチーフとし、規則正しく重ねることで日本らしい整った美しさを表現しました。

開催地である奈良県の春の若草山を連想させる緑色をキーカラーに、右肩上がりのデザインが、関西から世界へ飛び立つ様子や、空港関連業界全体の成長を表しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレートコミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

25 80 13
KIX ITAMI KOBE

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で250社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億8,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細はwww.vinci-airports.comをご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構